

— 地域とともに魅力ある地域づくり —

大原技術 株式会社



所在地 : 〒940-0856 新潟県長岡市美沢3丁目511番地
TEL : 0258-35-4511 (代表)
FAX : 0258-35-4514 (代表)
URL : https://www.ohara-web.com
社員数 : 62名
創 立 : 1967 (昭和42) 年8月
代表者 : 代表取締役社長 高野 一博
登録業務: 測量業 / 建設コンサルタント / 補償コンサルタント /
一級建築士事務所



会社 社屋



UAVレーザー



3次元データ処理



大河津山地掘削現況



大河津分水



石組み魚道①



石組み魚道②



長岡まつり大花火大会①



長岡まつり大花火大会②



長岡まつり大花火大会の会場

会社概要

当社は昭和42年8月「大原測量設計株式会社」として測量業を主に創業しました。

その後、建設コンサルタント及び補償コンサルタント業の登録を行い、昭和60年10月に社名を「大原技術株式会社」に変更し、創業以来50年以上が過ぎ、令和9年には世間で一般的に言われる還暦を迎えます。

受注先は国・新潟県・市町村の公共事業を主体に、測量調査から設計業務・用地補償業務と幅広く、総合建設コンサルタントとして地域の社会資本整備に関わっています。

経営方針

“企業は人なり”を理念として、社会のニーズに的確に応え、高い技術力と高い倫理性を持ち合わせた人材育成に取り組んでいます。

地域に密着した総合建設コンサルタントとして実績を重ね、あらゆるニーズに対応できるよう、企画立

案から調査計画、測量設計、用地補償、建築設計まで一貫したスムーズなワンストップサービスの提供に努めています。

技術革新の時代を迎えた今、「i-Construction」の奨励を受け最新技術を活用した生産性及び品質向上に注力し、常に新たなことにチャレンジを続け、選ばれる会社となるため社員一丸となり、信頼される成果品の提供に徹し、魅力的な地域づくりの一端を担うとともに社会に貢献しながら地方の総合建設コンサルタントとして進んでいきます。

業務内容

当社の業務区分は大きく分け、地上測量・3次元測量・UAV(ドローン)測量・地理情報システム(GIS)を行う「調査測量」、主に道路や橋梁・河川・農地など公共性の高い設計を行う「建設コンサルタント」、公共用地の取得等に伴い必要な損失補償に関する調査算定を行う「補償コンサルタント」の3部門です。

持ち味は、豊かな地域情報と迅速な行動力、そして最新技術を導入しての行き届いたサービスです。それらを駆使し、各分野が連携しながら魅力的な街づくりに貢献しています。

新技術の活用

例えば、令和4年8月に通水100周年を迎えた大河津分水路について、現在、国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所において、「令和の大改修」として、山地部掘削など各種工事が鋭意進められています。

山地部の掘削工事発注にあたり、発注規模、山地全体の安定、土砂搬出路等の検討に必要な条件を整理し、統合CIMモデルを用いて概略検討を実施し、掘削基面・範囲を含めたトライアルを行ったうえで、最適な掘削箇所を検討しました。

自然再生及び環境に配慮した設計

農業用取水堰により、魚類(特に鮭)の遡上が困難な箇所において、地元漁協・学識経験者(大学教授)の意見、地域住民の意向等を踏まえ、自然環境・経済

性・施工性に配慮した魚道として、石組み魚道を設計しました。

また、平成25年の一級河川信濃川低水護岸設計では、緑豊かな親しまれる河川空間の整備として緩傾斜堤防の設計を行いました。

工事完成後の堤防及び高水敷は、毎年8月2日と3日に開催される「長岡まつり大花火大会」の会場として利用されています。昨年は人口約25.6万人(R6.4.1現在)の長岡市に延べ34万人(有料観覧者数:長岡市観光事業課公表)が観覧に訪れています。

おわりに

生産性革命の時代を迎えた今、BIM/CIMなど新技術の導入やDXの推進を図る取り組みなど、技術向上に努めるとともに、誠実な仕事と絶え間ない研鑽により、これからも常に新しい挑戦を続けて、魅力ある街・地域づくりの一翼を担ってまいります。

(文:品質管理室部長 渡辺 芳巳)